



農業するってどんな感じ？渋川で暮らすってどんな感じ？

イメージ湧かないなって思っている

そんなあなたに少しでも知ってほしくて、

「渋川市で就農した先輩の声」を集めました。



就農3年目
野菜

農業がやりたい。その強い気持ちで就農しました。

非農家出身のため様々な壁につきあたりながらも農業をやりたいという強い思いで就農した大畠さん。野菜の成長過程を楽しみつつ熱心に農業に向き合う姿が印象的でした。



おおはた まさき
大畠 将輝 さん

就農時年齢：24歳
主な営農品目：ナス・下仁田ネギ・ズッキーニ・ブロッコリー・アレッタ
営農地区：赤城地区

就農したきっかけ

農業に興味を持ったのは、小学校の田植えの授業でした。「農業っておもしろい！」と思いましたが、非農家出身の自分が農家になるには様々なハードルがあるということを感じ、一度諦めて東京で就職しました。でも幼い頃の夢を諦めきれず、なんの準備もなしのまま群馬に帰り、農業をしたい強い気持ちのみで就農しました。

新規就農者へひとこと

作物にも個性があるので自分の性格に合った楽しく栽培できる作物を見つけ、自分の実力に見合う面積で栽培することが大切です。それと、ほかの農家さんとのつながりを持つことはもちろん大切ですが、農協さんや県の技術支援の担当者さんなど農業を違う角度から見ている人とのつながりも困ったときに頼りになる存在なので大切にするといいと思います。

露地野菜の栽培は大きな機械を使わないので、初心者の方にもオススメです。

技術の習得方法

就農した当初は知り合いの農家さんがほとんどいなかったので、農協さん主催の栽培講習会を受講したり、栽培方法のテキストを読みながら想像力を働かせて栽培に挑みました。

また、農林大学の野菜コースにも通いました。そこでは技術習得はもちろん、約9割の生徒が自分と同じ非農家出身だったので、同じ目線で農業に取り組む仲間たちと一緒に作業することで、充実した学生生活を過ごすことができました。



就農5年目
リンゴ

農家はおもしろい！手間をかければかけただけ作物も答えてくれます。

就農したきっかけ

子どもの頃は父の作ったリンゴを使ってお菓子を作るのが夢でした。父が亡くなり、父が残したリンゴ園を守りたいと思ったことがきっかけです。

技術の習得方法

技術を継承する前に父が亡くなってしまったため、せん定の方法は県の果樹担当の方などに聞いて実践しながら学んでいきました。また、農林大学の果樹コースに通って果樹全般の栽培管理・収穫調整などの知識を身につけました。

就農してから大変だったこと

思ったようにならないことがたくさんあることですね。日照不足が続くとリンゴが大きくなりなど天候の影響をダイレクトに受けますから。台風が来たときなんかはロスリンゴ（見た目が悪かったりキズがついたりしたもの）も多くなってしまいます。でも自分の場合はロスリンゴもアップルパイの加工に使えるので、そこは強みです。

新規就農者へひとこと

農家はおもしろい！けれど、失敗することも多いです。本当に好きなことであれば続けたいと思いますから、農業が好きな気持ちと覚悟を持って就農してください！



▲甘さひかえめなアップルパイ。リンゴがたっぷり、ずっしり、詰まっています。

父から継承したリンゴ園を守りながら、パティシエの技術をいかしアップルパイの製造と販売をしている萩原さん。地域の活性化にも貢献し、地域の人々から厚い信頼が寄せられています。



はぎわら ひさし
萩原 久志 さん
就農時年齢：44歳
主な営農品目：リンゴ、農産物加工（アップルパイ等）
営農地区：渋川地区
渋川市認定新規就農者

就農2年目
ハーブ

お客様からの「おいしい」を直接聞けることは何よりの喜びです。

農業・加工・販売のトータル企業である(株)森の香を立ち上げた荒井さん。会社員時代の経営・企画の知識をいかした戦略的な経営方法に驚きの連続でした。



あらい よしあき
荒井 良明 さん

就農時年齢：39歳
営農品目：ハーブ・農産物加工（ハーブティー・ピクルス等）
営農地区：赤城地区
株式会社森の香代表取締役
渋川市認定新規就農者

就農したきっかけ

実家の農地管理を含めた兼業農家を目指し、群馬へUターン就職しました。ですが思った以上に会社が忙しく、「もっと農業に力を入れたい」と思い、就農を決意しました。

技術の習得方法

(有)ファームクラブで8年間研修しました。露地栽培や育苗、経営まで様々なパターンの農業を学べたことは、とても有意義な時間だったなと思います。教えていただいたことの成果として、自分自身の力でパイプハウスを建てることもできました。おかげで余計なコストをかけずに就農できたことも研修の恩恵のひとつです。

就農してから良かったこと

家族との時間を持てるようになったことです。子どもと一緒に朝食・夕食をとれることが幸せです。それと、対面販売したときに、お客様に直接お話を伺えて、おいしい！といただけたことがうれしいですね。

幸せな香りが立ち込めるハーブティー。対面販売だけでなくインターネットによる販売もされています。



渋川で就農した先輩の声

集めました！

渋川市では、平野部から山間部まで多様な自然状況のもと、さまざまな作物が栽培されています。

新規就農者へひとこと

会社員時代と比べて農家は自由度が高いので、やりたいことにチャレンジできることはとても魅力的だと思います。

就農に向けて計画を立てる時には、ひとりだけでチェックするのではなく、いろいろなひとからご意見をいただき、自分の信念がぶれない程度に無理のない範囲で進めていくといいと思います。それから、農業技術だけでなく、経営管理の勉強も大切ですね。



就農12年目
キノコ

壁にぶつかったときに、解決のヒントを与えてくれるのは仲間達です。

就農したきっかけ

幼い頃から手伝ってきた実家のキノコ栽培。常に身近に農業がありました。学生の頃は休日にキノコ栽培や配達業務などの手伝いをしていました。卒業後、両親も高齢になってきたので就農しました。

新規就農者へひとこと

農業の場合は横のつながりが大切になってくると思います。壁にぶつかったとき、仲間に相談することで乗り越えることもできる。青年クラブは、そんな仲間作りに最適の場所です。青年クラブの活動の中でも今年は「クラブ員宅の視察」に重点を置いています。同じ地域で営農する仲間たちの栽培方法・考え方を学ぶことで、問題にぶつかったときに解決の



ヒントになればいいなと思います。

◀クラブ員宅視察の様子

農業の魅力

自然相手なので天候に左右されるところも大きいですが、基本的には自分の行動が収入や作物の成長にダイレクトに返ってくるので、そこは農業のおもしろいところだと思います。努力すればするだけ結果がついてくる。それと、同じ地域、同じ作目でも様々なやり方があり、正解が一つでないことも面白いところですね。

渋川の魅力

渋川は水がいいですね。キノコに関していうと温度が重要になってくるので、平野部に比べて、気温にある程度の波がある渋川は栽培しやすい地域だと思います。

若手農業者による組織、渋川地区農業青年クラブで会長を務める樋田さん。農業に携わるうえで、仲間を作ることの大切さを教えてくれました。



といだ しげゆき
樋田 滋幸 さん

就農時年齢：22歳
主な営農品目：キノコ（マイタケ・シイタケ）
営農地区：小野上・子持地区
渋川地区農業青年クラブ会長

群馬県、そして日本の真ん中に位置する渋川市。
 ここであなたと知り合えたのも何かの縁。せっかくの機会なので、渋川市のこと少しだけ伝えさせてください。

渋川市ってどこにあるの？

渋川市は群馬県庁のある前橋市のすぐ北側に位置しています。
 また、東京・新潟方面からのアクセスも非常に良好な場所です。



電車の利用

東京方面から

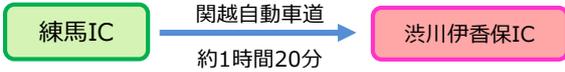


新潟方面から



車の利用

東京方面から



新潟方面から



渋川市ってどんなところ？

人口77,097人、世帯数32,343世帯、面積240.27km²の渋川市。
 そんな渋川市の特徴を4つ紹介します。（※令和元年8月時点）

① 気候

平均気温 13.7℃

年間降水量 1,233mm



標高差がある地形のため、地域によって気候にも差があります。低地は、夏は暑くなりますが、冬の積雪はそれほどではありません。一方高地は、夏は比較的涼しくなりますが、冬は積もった雪がなかなか溶けない地域もあります。そのため、低地と高地では、適する農作物にも差があります。

② 女性目線の農業を推進

渋川市には女性農業委員が6名います。県内34農業委員会のうち女性委員数、なんとトップ！女性ならではの視点から多様なアイデアを地域農業活性化に結び付けようと日々奮闘しています。



③ 観光

有名な伊香保温泉をはじめ、渋川市にはたくさんの日帰り温泉があります。ゆっくり温泉に浸かって日頃の疲れを癒しませんか？
 また、「アルテナード(芸術の散歩道)」に沿って、美術館や博物館などの文化施設や、市営の遊園地やアイスクリームのおいしい伊香保グリーン牧場などの楽しいプレイスポットも！
 道の駅や農産物直売所も、毎日たくさんの観光客でにぎわっています。

④ 『新規就農者相談窓口』を開設

渋川市農林課では、新たに農業を始めたい人などを対象に、関係機関が連携して就農を支援するための総合窓口として、『新規就農者相談窓口』を開設しています。相談者が希望する就農形態や取り組みたい作目などの相談を受け付け、それぞれの課題に対して専門的な機関と情報を共有し、連携して支援を行っています。就農に対しての疑問や不安、ぜひ一度ご相談ください。



お問合せ

新規就農者相談窓口（渋川市産業観光部農林課内）
 〒377-8501 群馬県渋川市石原80番地
 TEL：0279-22-2593 FAX：0279-22-2132
 mail：nourin@city.shibukawa.gunma.jp